

NLD912AE

- 正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
- 施工するには、電気工事士・消防設備士(甲種第4類)の資格が必要です。
- 施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、取扱説明書と施工説明書をお渡しください。
- 万一、施工説明書にしたがわず施工された場合の事故や故障については責任を負い兼ねることがあります。
- 火災などによる損害については責任を負い兼ねますのでご了承ください。

安全上のご注意

ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

警告

- ぬれた手で連動制御器をさわったり、水をつけたり、水をかけたりしないでください。感電・故障の原因になります。
- 電池は必ず接続してください。電池が接続しないと停電時に機能しません。
- AC100V専用です。接続前に入力電圧の確認をしてください。それ以外の電圧では故障の原因になります。
- 連動制御器は施工説明書にしたがい、その質量に十分耐えるようにしっかりと取り付けてください。安易な取り付けは脱落によりケガの原因になります。
- AC100V配線は、確実に差し込んでください。感電や発熱・故障の原因になります。

施工上のご注意

- この商品は「屋内専用」です。屋外・屋側には設置しないでください。
- 接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。

■次のような場所には設置しないでください。

(誤動作や故障の原因となります。)

- 直射日光の当たる場所
- 水滴、蒸気、ほこりなどがかかる場所
- 周囲に操作上支障となる障害物のある場所
- 衝撃、振動などの影響を受ける場所
- 常に人がいなくてようすを確かめられない場所
- 薬品などのガスが発生する場所
- 強電界やノイズの発生する場所

■施工時のご注意

- 電線接続部は圧着スリーブなどで行い、絶縁処理をしてください。



電線をよじっただけでは、長期使用中に電線表面が酸化不良をおこし、誤報の原因となります。

- 工事・施工時のゴミなどは機器の中に残さないでください。ショートや故障の原因になります。
- 強電ライン・AC100V配線と小勢力配線はできる限り離して施工してください。強電ライン・AC100V配線が小勢力配線の近くにあると誤動作の原因となります。

- 接続方法に示す機器以外の機器を接続する場合には、当社へご相談ください。

- 不適切な接続は誤作動・故障の原因となります。

- 他社商品との接続は、仕様をよく確認してください。仕様が合わない和不作動や故障の原因となります。

- 感知器配線の終端に終端抵抗器(10kΩ)(付属)を取り付け、終端抵抗器ラベル(付属)を貼り付けてください。また連動制御器の交換時は、終端抵抗器をご確認ください。指定以外の終端抵抗器は使用しないでください。

- 蓄積型感知器・蓄積式中継器は接続できません。

■速結端子のご使用方法

- 電線は必ず右記の単線を使用してください。

AC100V端子	φ1.6~φ2.0
小勢力端子	φ0.9~φ1.6

- 速結端子への入線は、1端子あたり、1本にしてください。
- 曲がった心線は使用しないでください。接触不良などをおこし、不動作の原因となります。

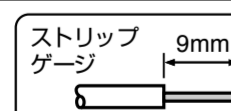
AC100V端子

- ストリップゲージに合わせて、電線被覆を12mmむき、**1**心線を奥まで確実に差し込む。



小勢力端子

- ストリップゲージに合わせて、電線被覆を9mmむき、**1**心線を奥まで確実に差し込む。

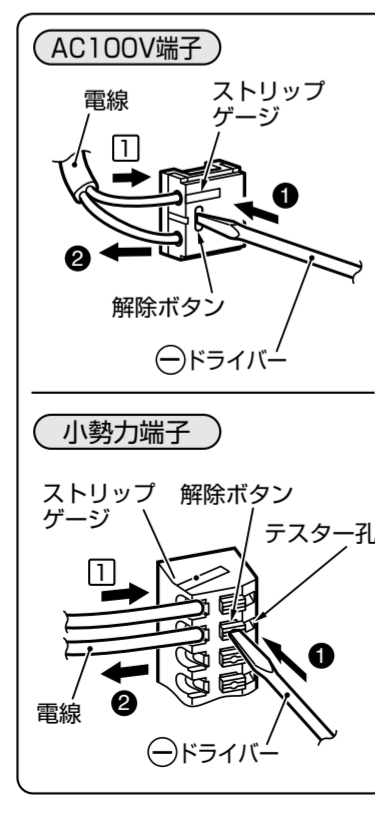


電線のはずし方

- 1 電線を速結端子と平行にして、**⊖**ドライバー(小)で解除ボタンを押しながら
- 2 電線を引き抜く。

導通確認のしかた

テスター孔にテスター棒を差し込めば結線したまま導通確認などができます。(小勢力端子のみ)



付属品

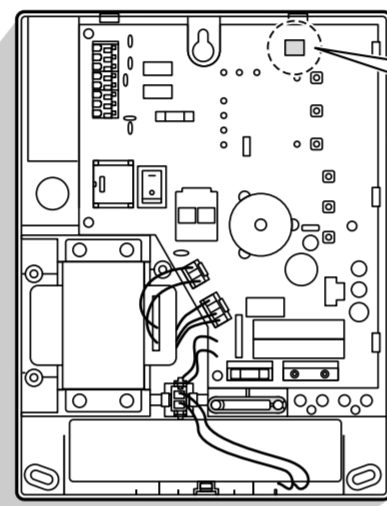
- 施工説明書(本紙).....1枚
- 取扱説明書.....1冊
- 取り付け用部品(終端抵抗器など).....1セット
- 電池.....1コ

機能設定

注意

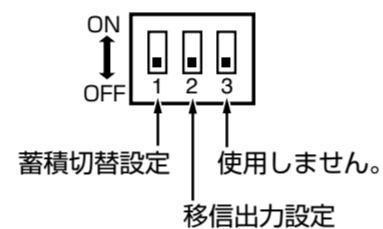
- AC100V電源を切り、電池を取りはずした状態で設定してください。電源が入った状態で設定すると故障の原因となります。

※カバーをはずした状態



機能設定スイッチ

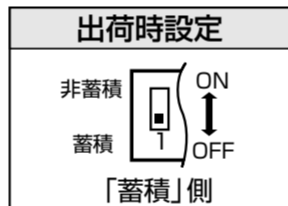
下図は、回線は蓄積に設定、移信出力は火災移信出力に設定した場合を示します。



機能設定スイッチ

■蓄積切替の設定方法

- 蓄積解除したい場合は、「非蓄積」側に設定してください。



■移信出力の設定方法

- 代表移信リレー出力を火災発生時に行うか、防排煙作動監視入力時に行うか選択できます。「OFF」側：火災代表移信出力(出荷時設定) 「ON」側：防排煙作動監視移信出力



施工後の確認方法

- 連動制御器は、下記の試験をしてください。

- 1 火災試験.....取扱説明書23・24ページ参照
- 2 電池試験.....取扱説明書26ページ参照
- 3 防排煙起動制御.....取扱説明書25ページ参照

- 接続した感知器は下記の動作試験をしてください。

- 注意**：●詳細は、各試験器に付属の取扱説明書を参照してください。
- 熱感知器(差動式・定温式スポット型)の場合は、加熱試験器で加熱試験をしてください。
- 煙感知器(光電式スポット型)の場合は、加煙試験器で加煙試験をしてください。

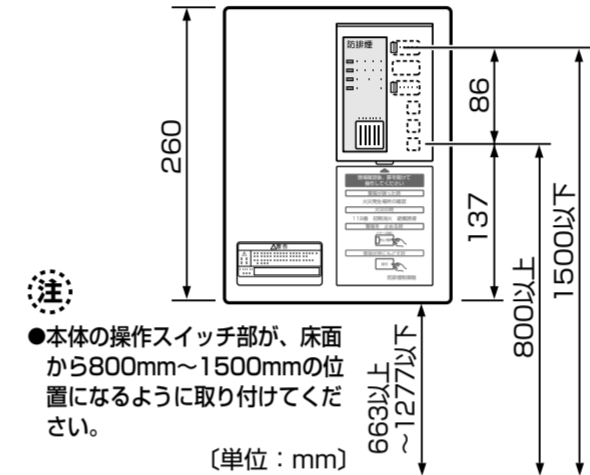
●絶縁試験をする場合

- 外部配線相互間の絶縁試験を行う場合は、感知器・終端抵抗器・連動制御器の外部配線を切り離して行ってください。また、絶縁抵抗が低下している場合は、周辺機器を破壊するおそれがあるので事前にテスターで抵抗値の確認を行ってください。

取付方法

1 取付位置を決め、取付用プラグを打ち込む。

- プラグボルト(M4)(市販品)の打ち込みと、配線を引き込む位置は右記の取付寸法図のとおりです。
- 中央上部のプラグボルトは本体取り付け時の位置決め用としてご利用ください。



注意

- 本体の操作スイッチ部が、床面から800mm~1500mmの位置になるように取り付けてください。

2 カバーと本体を分離する。(図1参照)

3 入線を行う。

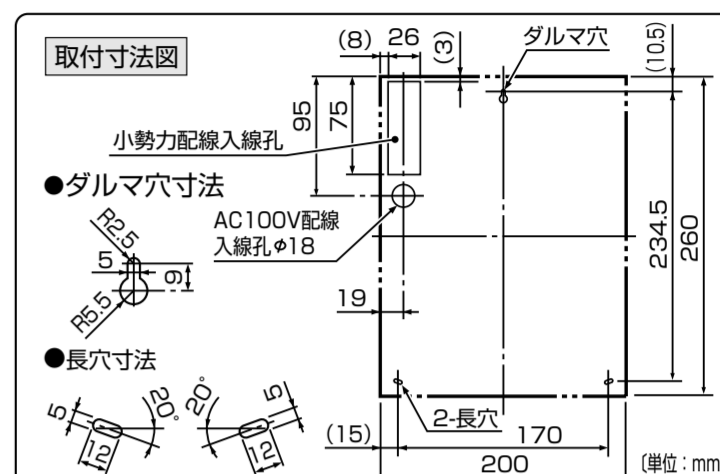
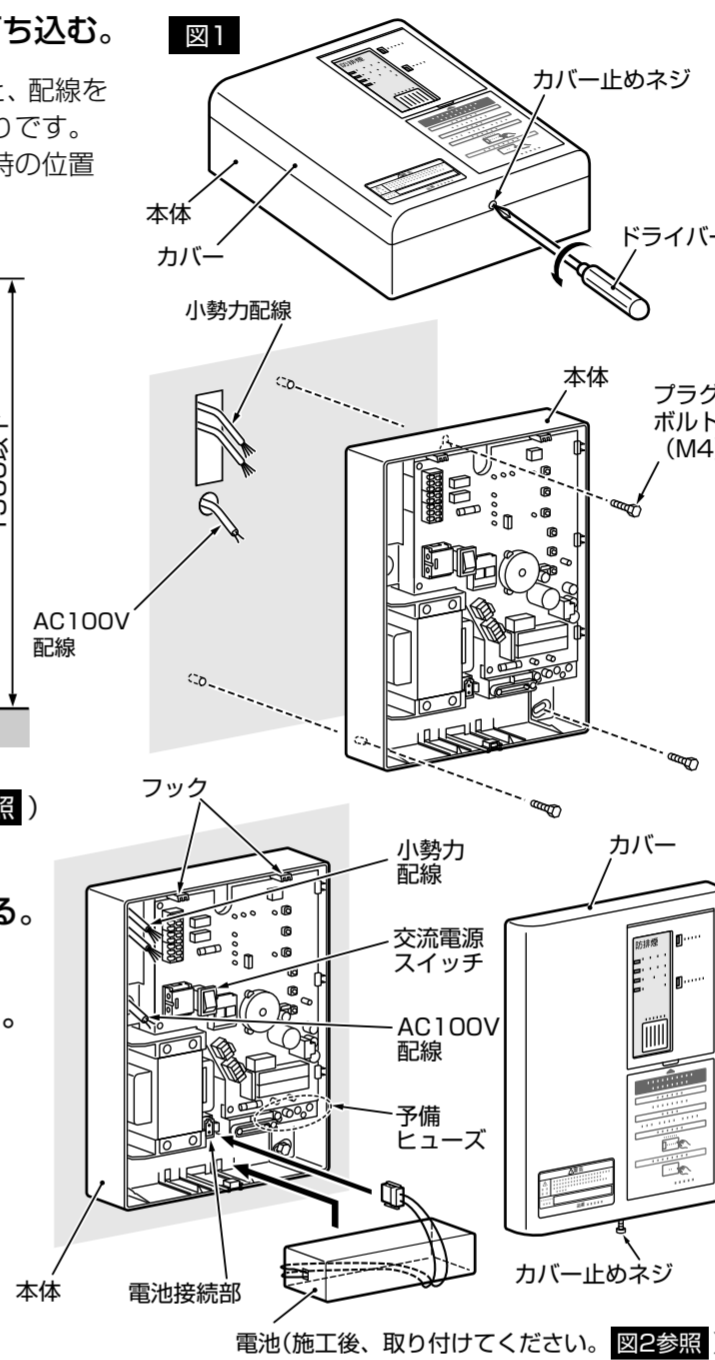
4 本体を取付ネジ(3カ所)で固定する。

5 配線する。*「接続方法」参照。

6 交流電源スイッチを「入」側にする。

7 電池のコネクタを取り付ける。(図2参照)

8 カバーを取り付け、カバー止めネジで固定する。



露出配線をする場合

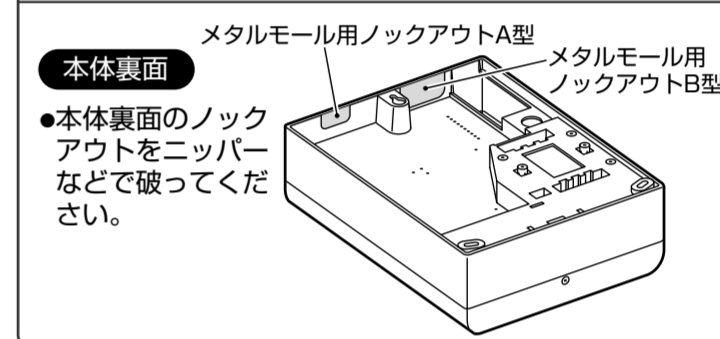
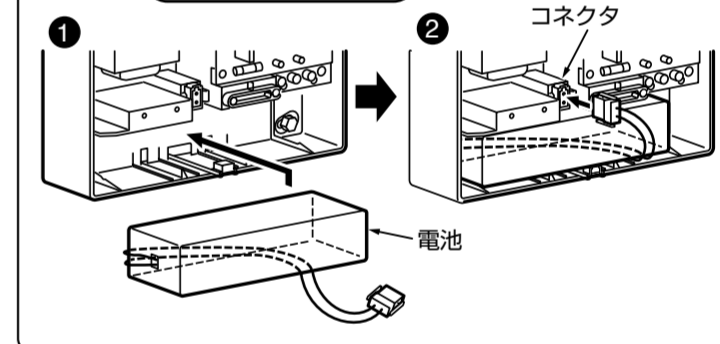


図2 電池の収納方法



接続方法

警告

- AC100V配線は確実に差し込んでください。感電や発熱・故障の原因になります。
- 電線の差し込みが不十分な場合、誤動作・不動作の原因になりますので確実に差し込んでください。
- AC100V電源を切り、電池を取りはずした状態で施工してください。活線工事は感電や発熱・故障の原因となります。
- 強電ライン・AC100V配線と小勢力配線はできる限り離して施工してください。強電ライン・AC100V配線が小勢力配線の近くにあると誤動作の原因となります。

■接続個数

接続機器	接続個数
熱	無制限
熱(電子式)	80コまで
煙	20コまで
光電式分離型	1コまで

- 光電式分離型感知器と他の感知器との混在接続はできません。

